

海へと放流されるキタオットセイ
トセイ 30日、茨城県鹿島
沖(鴨川シーワールド提供)



先月保護のオットセイ放流 鴨川シーワールド

鴨川シーワールド(鴨川市)は30日、いすみ市の海岸で先月22日に保護したメスのキタオットセイを茨城県鹿島沖で仲間の群れへ放流した。

キタオットセイは先月22日午前9時半ごろ、いすみ市岬町和泉の海岸で、衰弱した状態で見つかった。同館で獣医師と飼育員が治療した結

果、23日には餌の魚を食べるようになり、わずか31.9kgだった体重も回復。血液検査の数値も安定したため、海へ戻すことにした。

30日は銚子海洋研究所の協力を得て午前10時35分ごろ、銚子マリーナを出港。仲間の群れがいるという情報があった鹿島沖約13kmの地点で放

流した。鴨川シーワールドは「無事元気になって帰ってほしい。自然保護活動は水族館の大きな役割の一つ。継続していきたい」と話した。